

都 退 教 協 だ よ り

No.286号

2018年10月24日発行

東京都退職教職員協議会 会長 柴田 迪春

〒101-0003 千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館2F 東京教組内

☎:03-5276-1311 FAX:03-5276-1312 Mail:totaikyokyo@tokyokyouso.org

憲法を改悪させず、安心して暮らせる社会をめざすため、 都退教協への参加を呼びかけてください！

第4次改造内閣を安倍晋三首相は「全員野球内閣」と名付けましたが、世間では「在庫一掃内閣」と揶揄され、すでに閣僚による妄言、疑惑も続出しています。

安倍首相は、2/3 議席以上の改憲勢力を背景に、来年の参議院選挙前に自民党改憲案を国会に提出し、戦争をする国づくりに大きく舵を切ろうとしています。

秘密保護法、安保法制、労働法制改悪、共謀罪など国民の生活・雇用を脅かす政策の強行、沖縄の民意を無視した辺野古新基地建設強行、原発再稼働など安倍政権の暴走はとどまることを知りません。

しかし、生活・雇用、日本の農業・医療を守り、戦争をさせない民意は、大きく広がっています。沖縄知事選挙では辺野古新基地建設阻止を掲げ翁長雄志知事の遺志を受け継ぐ玉城デニー氏が圧勝しました。また、多

くの高齢者、若者、女性、学生が「アベ政治を許さない！」声をあげ、国会前などの行動に参加しています。

高齢化が急速に進む中、65歳以上の人口は3557万人で総人口に占める割合は28.1%、特に70歳以上が初めて20%を超えました。(総務庁2018年9月15日現在)

とりわけ、75歳以上(後期高齢者)の人口(1637万人)のほぼ3割が介護認定を受けています。発足から18年を経過した「介護保険制度」は、現状維持が困難になるなかで抜本的な改善が求められています。しかし、安部政権は、消費税10%増税の一方で、介護保険制度、医療制度など高齢者福祉の切り捨てを進めています。高齢者自らが声を上げるために、仲間に声をかけて都退教協への参加を呼びかけてください。

秋の交流会のご案内 東京タワーと増上寺

恒例の秋の散策交流会は、江戸から昭和を歩く港区散策を企画しました。

日時：11月7日(水) 11:00 集合

地下鉄御成門駅A6出口、芝公園の入口

散策コース：開拓使学校碑(芝公園)ー増上寺ー徳川将軍陵墓ー東京タワー

参加される方は、谷口(電話090-5202-0117)または東京教組(FAX03-5276-1312)までご連絡ください。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

散策のあと、懇親会(自費2~3千円)を持ちたいと考えています。



クロスワードパズルの正解はトウキョウ

前号で応募したクロスワードパズルに4名の方が応募してくださり全員が正解でした。ありがとうございました。応募者全員に図書券を贈らせていただきました。応募してくださった皆さんのコメントを紹介します。

深澤 裕

都退教協事務局さま
いつもニュースありがとうございます。
今回はクロスワード。楽しかったです。
長谷川和男さんの
朝鮮学校支援と「全国行脚」の記事。
読み応えがありました。
流石、長谷川さん。
気力と体力があります。
半端じゃないですね。
私も今年から完全年金生活者。
映画三昧。読書三昧。登山三昧。
時々国会包囲行動や反原発集会に行きます。
週一回。新大久保でニューカマーの
韓国人児童・生徒の塾講師を
ボランティアでやっています。
4月からハングルの勉強をはじめました。
多文化交流は面白いです。

木下裕一

雑感 いよいよ沖縄県知事選が告示されました。翁長知事の遺志を継ぐ玉城デニー氏には

是非とも勝利してほしいです。そして辺野古新基地建設阻止の闘いを後押しできればと思っています。沖縄には2度支援の闘いに行きましたが、状況に応じてまた行きたいと考えています。

石岡恵子

近況 自分の身の上で起こって初めて実感する災害・電気に頼る生活の危うさ。しかし老いた母は薄暗がりの中、美味しそうに夕食を平らげていた。

片桐健司

クロスワードパズルの回答 トウキョウ
エシカル、キトピロ、むずかしかったです。
久しぶりのクロスワードパズル楽しかったです。
教員生活49年目、いまだに「講師」ねばって
ますが、もうそろそろやめようか、あと1年
がんばろうか、迷ってます。

憲法の「法の下での平等」について考える

柴田迪春

憲法第14条には、「すべて国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。」と謳われてい

ます。つまり、「誰でも」その人が、「何人か」、「どういう考えか」、「男か女かその他か」、「部・課長か平社員か」「どういう社会的立場であるか」に関わらず、憲法や法律の適用はす

べて平等であり、何々議員であるからとか、財産の多い少ないとか、町会の役員であるからなどとの関係で差別されることはない、ということ。

「平等」の対語は「不平等」ですが、条文にもありますが、「平等である」の反対の意味は「差別されない」ことです。しかし、実際はどうでしょうか。私は、昨年、北海道から、沖縄・辺野古基地建設反対の応援に行った人が、はっきりした「証拠」や「根拠」が無いにも拘わらず、突然警察機動隊員に取り囲まれ、逮捕された上、3か月近く警察の留置場に拘留された事実を、その後本人から聞きました。因みに、憲法33条には「現行犯か令状が無け

れば逮捕されない」とされています。一方で、明らかに「違法行為」をしたと多くの人が認めるのに「何々省の何々官」というだけで、逮捕もされず、また逮捕されても「不起訴」で釈放、という例も数多くあります。

こうして見てくると、「法の下での平等」もけっして「すべての国民」に行き渡ってはおらず、あくまで「たてまえ」なのではないか、と思ってしまう。他にも、在日外国人は、一定期間滞在する場合、「外国人登録証」の所持を義務付けられています。親が何人でもアメリカで生まれれば、国籍を取得できますが、日本では父が日本人でないと、国籍取得はほぼ不可能です。これも「平等」とは言えません。

オウム事件から 一若くて優秀な人がなぜ？

片桐健司

まもなく終わろうとしている「平成」のうちに片付けてしまおうと、この夏、オウムの事件に関わった人たちが次々と処刑された。こんなに簡単に人の命が奪われてよいものか。さらに若くて優秀な人たちがなぜこのような事件をおこしてしまったのか、あれこれ考える。

人を殺してはいけないという事は、教えられなくても人の心の中には自然と備わっているように思う。目の前にだれか倒れていたら助けなければという気持ちをいただくのは自然である。それが、教祖に言われたことによって人を殺してもいいのだという風が変わっていく、そこには何があったのだろうか。

私も宗教を信じる者のはしくれであるから、宗教の大切さはよくわかる。同時にその恐ろしさも感じる。自分の宗教を信じるのはよいが、それが他の宗教の存在は認めない、あるいは自分の宗教を信じない人間は抹殺しても良い、教祖の命令は絶対で人殺しも辞さないという気持ちになったとき、「殺してはいけない」という人の気持ちは変わってしまう。アラブの世界に見るテロなどもそこからくるように思う。

それは、宗教だけではなく、戦争によっても引き起こされる。戦争では殺人が正当化される。国のためには、人を殺すことが「手柄」になるのだ。かつて日本もそうだった。「天皇陛下」の命令には逆らえなかった人たちは、海外に出て多くの殺人をしてきた。そして、国のため、天皇のために、自分の命も捨てた。

これと、オウムの事件とどれほどの違いがあるのだろうか。たまたま、それが国家のことであれば「英雄」となり、一宗教のことであれば殺人事件となる。奪った人の命の数だけで言えば、はるかにかつての日本の方が罪は重い。

殺してはいけないという誰もが持っている意識は、ある種の力が働けば実に簡単に崩れる。そういう弱さは誰にもある。悪いことをした人は死刑になって当然だと思ってしまうそれも、同じようなことだと思う。

子どもに「社会性」を身につけさせなさい、そのために訓練を受けなさい。としきりに学校が要求してきて困っている人がいる。何のための社会性なのか。早い話、先生の都合のよいように動く子どもになれということ。上か

らの命令に素直に従う人になれということ。でもその行き着くところは、あの人を殺しなさいと言う命令に、何の疑問ももたずにそれを行うことにつながるように思う。かつて日本の若者も、オウム若者も、そうしたように。

はみだすことに勇気をもとう。みんなと違うことを考えたりしたりすることは、決して

いけないことではない。みんなが同じことを言い出したりしたら。それこそ危ない。先生や学校の都合に合わせる必要はない。自分が自分らしくあることを大切にできれば、少しは、世の中良い方向に向くのではないかと思うのだが・・・。

編集後記

◇ 四苦八苦して作ったクロスワードパズル。回答を寄せてくださった会員の皆様ありがとうございます。会計は図書券の支出が少なく安心したようですが(笑)、もう少したくさんの応募を期待していたのですが残念です。

◇ 私たちの世代はスカイツリーより東京タワーが好きだという人が多いようですが、恒例の秋の散策交流会は芝公園、増上寺、東京タワーを巡ります。(1ページ参照)

出発点には、開拓使学校(札幌農学校・北海道大学の前身)の碑があり、アイヌの青年が多く連れてこられて亡くなっています。毎夏、ここで慰霊祭(イチャルパ)が行われています。皆さんの参加をお待ちしています。



◇ 10月12日、東京都人事委員会の勧告がありました。民間企業が賃上げを行っている中、今年も給与の改定は見送られました。特別給(ボーナス)は0.1月分引上げ。初任給を1000円引き上げ。特に教員の勤務時間について「学校における働き方改革推進プラン」の取組を早急且つ着実に実行することを勧告しました。

◇ スキャンダルまみれの議員たちが大臣、副大臣、政務官にずらりと並ぶ第4次安倍改造内閣。その筆頭は、暴走老人こと麻生太郎副総理兼財務大臣だろう。自民党役員には、下村博文憲法改正推進本部長、稲田朋美筆頭副幹事長、甘利明選対委員長と、かつてスキャンダルで失脚した安倍首相の「お友だち」が復活し、「ゾンビ人事」とも言われている。

◇ 沖縄県知事に就任した玉城デニーさんは、「自立と共生と多様性」「誰ひとり取り残さない政治」など自らの政治姿勢を「チムグクル(肝心)」と表現している。標準語で言えば「真心」だと言う。沖縄の若者は、その前向き笑顔を「デニってる!」と表現し、人差し指と小指を立てるVサインをお互いで掲げて喜び合う。

デニーさんは、「チムグクルとは、見返りを求めない心です。隣にいる相手に対して、あなたはあなたのままでいいんだよ、誰もが普通に生きていける社会にしようねという優しさ。その優しい心があって初めて平和を希求することができます。外交努力にもあてはまります。片手を隠して後ろでナイフを握りしめていたのでは、対話なんか成り立ちません。」と言っていますが、安倍政権は会談してすぐナイフを突きつけてしまった。嗚呼・・・

(谷口記)